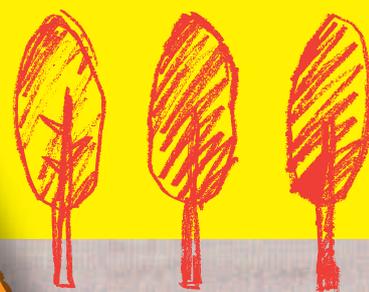
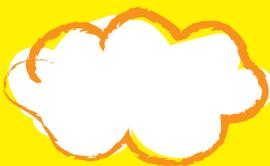




中学1年生と保護者の皆さんへ



現在の中学1年生が  
受験する平成27年度の  
入学者の募集から  
公立高等学校の  
入試制度が  
変わります



# なぜ入試制度を改正するの？

## 基礎学力



高校入試は、中学生の皆さんが、中学校で学習する内容をしっかりと身に付けて高等学校に入学することを目指して行うものです。そのために、検査内容の充実や、社会の変化に対応した制度としての整備を目的として、入試制度を改正することとしました。

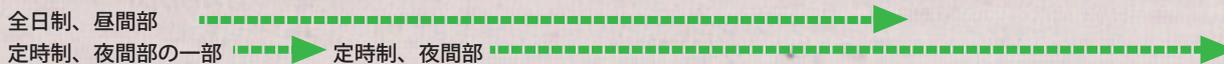
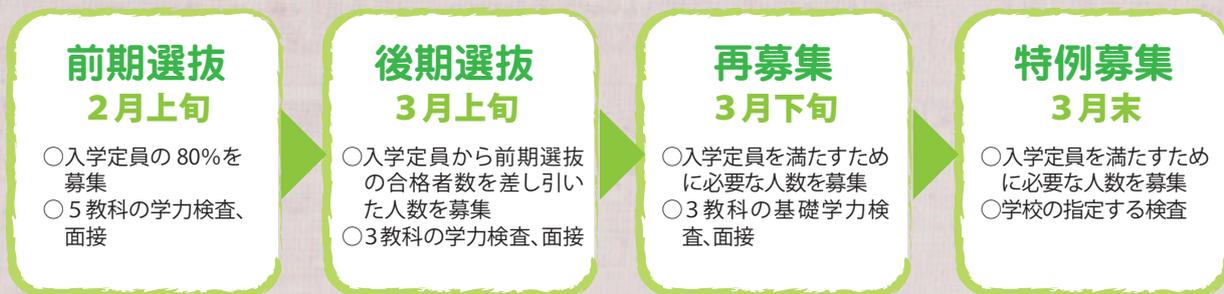
中学校で学ぶべき内容などを定めた学習指導要領が、情報化やグローバル化が進む社会の変化に合わせて改訂され、現在の中学1年生は、その新しい学習指導要領に基づいて学習しています。そこでは思考力や表現力が今まで以上に重視されており、そのような中学校での学習活動の成果を測ることができる入試にする必要があります。また、中学生の皆さんが入試に関わる期間を短くし、中学校から高等学校への学習をスムーズにつなげて、将来の進路希望が実現できる環境を整えることも大切です。今回の入試制度の改正は、それらの課題にこたえるように決定したものです。

教育委員会は、生徒の皆さんが、中学校でしっかりと基礎学力を身に付けて、高等学校に進学し、将来の進路希望をかなえることができるように支援します。

# 2 入試制度のどこが変わるの？

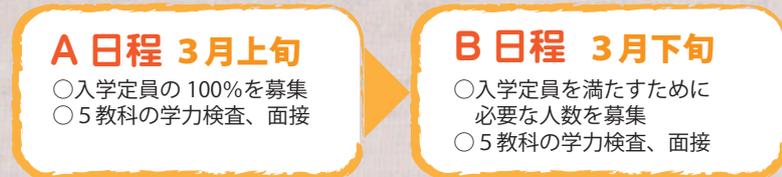
## 現行の入試制度と新しい入試制度の概要

### 現行の入試制度

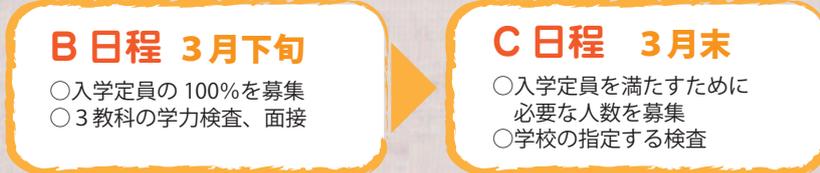


### 新しい入試制度

#### ◆全日制、昼間部



#### ◆定時制、夜間部



\*昼間部とは多部制単位制昼間部のことです。また、夜間部とは多部制単位制夜間部のことです。中芸、高知北、大方の3校に設置されています。





## 検査を行う時期が 2月上旬から3月上旬に

現行の入試制度では、前期選抜を2月上旬に実施していますが、中学校において、落ち着きのある環境で卒業まで学習できるよう、新しい入試制度では1回目の選抜であるA日程の検査を3月上旬に変更して実施します。



## 受検機会が 3回から2回に

全日制と多部制単位制昼間部はA日程とB日程、定時制と多部制単位制夜間部はB日程とC日程で選抜を実施します。

ただし、全日制と昼間部の学校のうち、A日程で入学定員を満たした学校はB日程を実施しません。また、定時制と夜間部の学校のうち、B日程で入学定員を満たした学校はC日程を実施しません。



## 検査の内容を充実

生徒の皆さんの中学校での学習の成果を十分にみることができるよう、A日程では思考力や表現力を重視した内容を増やし、学力検査の検査時間を40分から50分に延長します。

また、B日程においても5教科の学力検査を実施するなど、検査内容を充実します。



## その他

- ① A日程では、志願理由書の提出が必要です。B日程及びC日程では志願理由書の提出は必要ありません。
- ② A日程において、正当な理由で、別室受検などの特別措置を行っても受検できないと教育委員会が認めて欠試した場合に、B日程で追検査を実施します。

# 3

## 新しい入試制度についての今後のスケジュール

出願期間や検査を実施する日などの詳しい日程の決定

平成25年3月予定

入学定員と出願の手続など入試制度の詳しい内容の決定

平成26年6月予定

新しい入試制度の実施

平成27年3月



詳しい内容は決まりました、  
中学校を通じて生徒、保護者の  
皆さんにお知らせします。



# 4 新しい入試制度に関するQ & A

## Q1

高校入試制度がこの10年間で何度も改正されていると聞きましたが、なぜ何度も改正するのですか。

**高** 校入試制度の改正は、社会の変化に対応し、生徒の皆さんの実態にそった制度とするために行っています。

平成14年から平成23年の10年間の変化を具体的にみてみますと、生徒数においては、高知県内の中学校の卒業生数が1,700名程度減少し、通学などに関係する交通機関においては、平成14年にごめんなはり線が開通するなど通学可能な範囲が広がりました。また、中学校や高等学校で学ぶべき内容などを定めた学習指導要領も、情報化やグローバル化が進む社会の変化に合わせて改訂されています。このように、近年は教育に関わる社会情勢が急速に変化し、それともなって高校入試制度の改正が必要になったと言えます。

## Q2

3月に1回の入試で100%の募集になると、高校に進学できなくなるのではないかと心配になりますが、どのような影響があると予想していますか。

**現** 行の入試制度では、前期選抜で原則として入学定員の80%を募集していますが、100%の募集になれば、これまで不合格となっていた20%にあたる生徒が合格できることとなります。このように、新しい入試制度は、目標を定めてしっかりと学習に取り組むことによって、入学を希望する高等学校に一度の入試で合格が可能となる制度です。高校進学を希望する生徒数に対して、十分な入学定員を設けていますので、高校進学率には大きな影響はないと考えます。

また、高校入試から高校入学までの期間が1ヶ月近く短くなることで、中学校から高校へ学習のつながりが円滑になり、高校に入学したときの戸惑いも少なくなると考えています。

## Q3

学力検査の検査時間が長くなるなどの変更がありますが、学力検査が難しくなるのですか。

**学** 力検査は、中学校で学習する内容を出題範囲として、中学校における日常の学習活動の成果をみるものであるという点においては今までと変わりません。

ただし、中学校での学習の成果を十分に測れるようにするために、思考力や表現力を重視する内容を増やし、学力検査の時間を今までの40分から50分に延長するなど、内容の一層の充実を図っていきます。このことから、難しくなったと感じる生徒もいるかもしれません。しかし、日頃の授業を大切に、ていねいに学習していれば、十分に対応できる検査ですので、中学校での学習の成果が発揮できるように、しっかりと学習してください。

### 【お問い合わせ先】 高知県教育委員会事務局高等学校課

- 高知市丸ノ内1丁目7番52号
- TEL:088(821)4907 FAX:088(821)4547
- e-mail: 311701@ken.pref.kochi.lg.jp

\*この内容は高等学校課ホームページでもご覧になれます。  
また、高校入試に関する情報は、随時ホームページに掲載します。

- ホームページアドレス <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311701/>

携帯からも  
アクセスOK

